

常樂寺じやうらくじ

〔西本願寺の前にあり〕本尊阿弥陀仏は春日かすがの作なり。〔立像長貳尺余〕開基存覚上人そんかく〔本願寺第三世覚如上かくによ人の嫡子なり、此人聡明叡智にして、顕教を玄智僧正げんちにうけ密経を經惠僧正けいゑに学び、その奥旨を悟り且詩歌を善して名を著せり。当寺初は大宮通おほみやどほりに營、其後洛東らく今小路に遷され、常樂台じやうらくたいと称す、天正十九年此地にうつす〕